

## 第3回幼・保・小合同研修会

と き 平成30年7月30日(月) 午後3時～午後4時40分

ところ 郡山市総合福祉センター5階集会室

### 教育講演 「発達障がいと愛着障害から子どもの支援を考える」

講 師 実践女子大学生生活科学部教授 塩川 宏郷 先生

講師の塩川先生は、発達行動小児科学・小児精神医学が専門で、自閉症や注意欠如多動症など、発達障がいのある子どもの早期発見や地域支援のあり方、子どもの精神疾患のケアシステムや子どもの保健医療などについて研究をされている。東ティモール大使館や東京少年鑑別所で勤務されるなど、様々な医療現場に勤務された先生であり、専門的な内容を具体的な事例を示しながら話され、ユーモアを交えた分かりやすい講演であった。



#### 《講演内容》

- 発達性協調運動障がいは、不器用・とろい・ぎこちないといった形で現れ、繰り返し失敗をしたり怒られたりする。体育の学習障がいであり、放っておいても良くなる。3年生くらいに感覚統合訓練という作業療法によって改善する。  
5歳でスキップができなかったら発達性協調運動障がいである確率が高い。
- 自閉症とは、社会的コミュニケーションの質的な障がいとこだわり行動が主な症状。  
通常の人はこの症状が軽いが、自閉症の人は重い。
- 障がいは、症状によって日常生活に困難をきたしている。どういうことで困っているのかによって発達障がいといわれる。
- 発達障がいについて、自閉症の原因・医学的な解釈、地域社会との関係性について、社会が変われば障がいも変わる。
- 虐待には、身体的虐待・心理的虐待・ネグレクト・性的虐待がある。
- 虐待が心に・脳に大きな障がいを引き起こす、精神疾患予防の第一歩は子ども虐待の防止である。
- アタッチメント(愛着)は、対人関係の土台。安心感・安全性・被保護感のもとに形成される。  
アタッチメントが阻害されると、自己感の障がい・対象関係の問題・被保護感の欠如がおきる。
- 行動観察をし、行動を分析する。行動の意味していることを読み取る。
- 問題行動に対し、「ダメ」というだけではダメ。本当は何をしたかったのかを尋ね、具体的な代替行動を教える。より良い行動パターンを教え、うまくいったことを保護者に伝える。好ましい行動や増やしたい行動は、褒める。
- 正しいほめ方、正しい叱り方、禁句集などを提示され、基本姿勢としては、試行錯誤・臨機応変・ネバーギブアップ(失敗を再発防止のチャンスとする)である。

## 塩川先生の資料より

### 《 正しいほめ方 》

- 表情を優しく視線を合わせできるだけ近くに行って、動作を含めてことばで伝える。
- その行動ができたことに気がついているということを具体的に伝える。
- 「できている」適正な行動を見落とさない。

### 《 正しい叱り方 》

- 無表情で、視線を合わせ、できるだけ近くに行って、淡々と伝える、制限する。
- 感情的にならない。
- 大声を出さない。
- 「ダメ」というだけではダメ。
- どこがいけないのか、次はどうするかを具体的に伝える。

### 《 禁句集 》

- この前も言ったでしょう。
- なんてできないの。
- いつになったらできるの。
- がんばりなさい。
- あの子だってできるのに。
- あなたには本当にうんざりする。
- そんな子はうちの子じゃない。
- あなたのことが恥ずかしい。
- ○○（鑑別所・病院など）で直してもらいなさい。
- もう知らない。

## 参加者のアンケートから

### 《アンケート》

- 発達障がい具体例があり分かりやすかった。応用行動分析や「体験世界」があるということを知ることができ、今後参考にしたい。
- 正しいではなく、より良い対応をすることが大切だということが興味深かった。個とていねいに対応していくために、行動分析をしていきたい。
- 正しいほめ方、叱り方・・・難しそうだが努力して実践してみようと思った。
- 「現状維持がまず最大の目標」が心に残った。あせらず子どもと向き合っていきたい。
- 専門的な立場で、分かりやすく話していただき、とても良かった。
- 愛着障がいと発達障がいの違いについて知ることができた。
- 障がい児の理解が深まり、正しい言葉かけや対応が大切であることを改めて感じた。
- 発達障がいの子だけでなく、他の子に対しても対応の仕方について、普段の保育を振り返ることができた。
- 発達障がいの子が身近にいても理解が難しい。発達障がいについて改めて勉強することができた。
- 叱り方について感情的になり、冷静な対応ができないこともあることを反省した。ほめることは意識しているつもりだが、保護者に対しても良いことを伝えていけるようにしたい。
- 禁句集にあることばを言うてしまうことがあるため、次にどうするかをしっかりと伝えることができるようにしたい。
- 障がい虐待によって結びつくということを初めて知り、見極めが難しいと感じた。
- 行動を記録していくことの大切さなど学ぶことが多かった。
- 事例を元に内容を展開していただいたので、考え方のプロセスもじっくり学ぶことができた。